

第 1 章 助成実績

第 1 章では、助成金申請及び採択の傾向について、これまでの推移を集計し、分析を行いました。

1. 全体の傾向

(1) 申請件数・採択件数の傾向

あいちモリコロ基金では、採択件数は、初期活動 50 件（年 2 回実施、計 100 件）、展開期活動 50 件、大規模活動 7～8 件を目安としていました。

これに対して申請数は、年度により多少のばらつきが存在していますが、初年度を除くと、初期活動は 200 件、展開期活動は 110 件、大規模活動は、30 件を軸に推移しています。

この結果、採択の倍率については、初期活動 2 倍、展開期・協働活動 2.7 倍、大規模活動 4.2 倍となりました。初期活動の後期募集は 6 月に募集し 10 月から開始するため申請から採択まで日数が短く設定されていることも影響し、申請数が偏る傾向にあったため、26 年度の募集より採択件数の目安を前期：後期＝2：3 と調整しました。

採択基準点について、初期活動は平成 22 年度（前期）までは 18 点前半で推移していましたが、以降は 19 点前後で推移し、平成 22 年度（後期）及び 29 年度（前期）の 20 点が最高値となりました。展開期活動において平成 26 年度は大きく下がったものの、21～22 点と基準点となる 18 点より高い水準で推移しました。複数回採択される団体が多かったことで、あいちモリコロ基金の趣旨や審査ポイントの理解が浸透し、趣旨にあった申請内容が増えてきたためと推測されます。大規模活動は 25 年度までは上昇傾向が見られるものの、年度による点差が比較的大きく、助成件数が少ないために、全体の傾向が見出しにくい状況にあります。

表 1 「あいちモリコロ基金」申請・採択最終結果一覧

助成年度		募集 時期	事業実施 対象期間	活動 区分	助成総額 (単位：万円)	採択 件数	申請 件数	倍率	採択基準 点(注)
19 年度		H19.10	H20.1-9	初期	3,156	109	196	1.8	18.0
20 年度	前期	H20.1	H20.4-21.3	初期	1,480	51	117	2.3	18.4
		展開期		4,511	57	183	3.2	18.3	
		協働		998	10	37	3.7	18.3	
		大規模		3,620	8	72	9.0	23.0	
	後期	H20.6	H20.10-21.9	初期	1,444	49	101	2.1	18.0
21 年度	前期	H20.10	H21.4-22.3	初期	1,493	50	89	1.8	18.0
				展開期	3,325	37	121	3.3	20.0
				協働	1,032	11	33	3.0	20.0
				大規模	3,995	8	32	4.0	21.1

	後期	H21.6	H21.10-22.9	初期	1,421	49	94	1.9	18.4
22 年度	前期	H21.10	H22.4-23.3	初期	1,448	50	70	1.4	18.1
				展開期	2,916	35	96	2.7	21.6
				協働	965	10	22	2.2	21.3
				大規模	3,635	8	32	4.0	21.1
	後期	H22.6	H22.10-23.9	初期	1,403	48	145	3.0	20.0
23 年度	前期	H22.10	H23.4-24.3	初期	1,438	49	78	1.6	19.8
				展開期	4,055	47	109	2.3	20.7
				大規模	3,296	7	25	3.6	22.7
	後期	H23.6	H23.10-24.9	初期	1,454	50	107	2.1	18.7
24 年度	前期	H23.10	H24.4-25.3	初期	916	31	61	2.0	17.6
				展開期	4,389	49	101	2.1	22.7
				大規模	3,695	8	24	3.0	23.4
	後期	H24.6	H24.10-25.9	初期	1,511	52	131	2.5	19.3
25 年度	前期	H24.10	H25.4-26.3	初期	1,513	51	86	1.7	18.8
				展開期	4,279	48	110	2.3	22.5
				大規模	4,094	9	27	3.0	24.8
	後期	H25.6	H25.10-26.9	初期	1,533	54	115	2.1	19.6
26 年度	前期	H25.10	H26.4-27.3	初期	1,214	41	79	1.9	19.0
				展開期	4,180	48	127	2.6	19.7
				大規模	3,716	8	35	4.4	21.4
	後期	H26.6	H26.10-27.9	初期	1,535	52	81	1.6	19.0
27 年度	前期	H26.10	H27.4-28.3	初期	1,331	45	73	1.6	18.7
				展開期	3,764	40	106	2.7	22.0
				大規模	3,405	9	30	3.3	22.0
	後期	H27.6	H27.10-28.9	初期	1,468	51	108	2.1	19.2
28 年度	前期	H27.10	H28.4-29.3	初期	1,562	54	138	2.6	19.7
				大規模	4,070	9	32	3.6	22.0
				展開期	3,960	42	108	2.6	21.5
	後期	H28.6	H28.10-29.9	初期	1,231	43	86	2.0	19.0
29 年度	前期	H28.10	H29.4-30.3	初期	913	31	75	2.4	20.0
				大規模	2,320	7	33	4.7	23.3
				展開期	3,790	48	131	2.7	21.5
	後期	H29.6	H29.10-30.9	初期	850	30	78	2.6	19.3
合計＆平均			初期		30,314	1,040	2,108	2.0	18.8
			展開期・協働		42,164	482	1,284	2.7	20.9
			大規模		35,846	81	342	4.2	22.5
合計＆平均					108,324	1,603	3,734	2.8	20.3

※ 初期活動＝上限 30 万円×100 件（年間、2 回募集）、書類審査のみで判断。展開期・協働活動＝上限 100 万円×50 件（年間）、H23 年度以降は展開期へ包括。1 次審査（書面）と 2 次審査（公開プレゼン）。大規模活動＝上限 500 万円×8 件（年間）は、書類審査（1 次審査）と公開プレゼン審査（2 次審査）で判断。

※ 審査会における評価は 6 項目。「愛・地球博の理念継承性」「必要性・公益性」「先駆性・先進性」「発展可能性」「実現可能性」「費用の妥当性」。うち「理念継承性」が 3.0 点以上かつ合計点が上記基準点以上のものを採択。平成 23 年度以降は、「費用の妥当性」も 3.0 以上であることが条件となった。

表 2【初期活動】 申請・採択件数の推移

助成年度	活動実施 対象期間	助成金額	採択件数	申請件数	倍率	採択 基準点(注)
19 年度	H20.1-9	3,156	109	196	1.8	18.0
20 年度	H20.4-21.3	1,480	51	117	2.3	18.4
	H20.10-21.9	1,444	49	101	2.1	18.0
21 年度	H21.4-22.3	1,493	50	89	1.8	18.0
	H21.10-22.9	1,421	49	94	1.9	18.4
22 年度	H22.4-23.3	1,448	50	70	1.4	18.1
	H22.10-23.9	1,403	48	145	3.0	20.0
23 年度	H23.4-24.3	1,438	49	78	1.6	19.8
	H23.10-24.9	1,454	50	107	2.1	18.7
24 年度	H24.4-25.3	916	31	61	2.0	17.6
	H24.10-25.9	1,511	52	131	2.5	19.3
25 年度	H25.4-26.3	1,513	51	86	1.7	18.8
	H25.10-26.9	1,533	54	115	2.1	19.6
26 年度	H26.4-27.3	1,214	41	79	1.9	19.0
	H26.10-27.9	1,535	52	81	1.6	19.0
27 年度	H27.4-28.3	1,331	45	73	1.6	18.7
	H27.10-28.9	1,468	51	108	2.1	19.2
28 年度	H28.4-29.3	1,562	54	138	2.6	19.7
	H28.10-29.9	1,231	43	86	2.0	19.0
29 年度	H29.4-30.3	913	31	75	2.4	20.0
	H29.10-30.9	850	30	78	2.6	19.3
合計&平均		30,314	1,040	2,108	2.0	18.8

※ 初期活動＝上限 30 万円×100 件（年間、2 回募集）、書類審査のみで判断。

※ 審査会における評価 6 項目のうち、「理念継承性」が 3.0 点以上かつ合計点が上記の点数以上のものを採択、平成 23 年度以降は上記に加えて「費用の妥当性」が 3.0 以上であることを条件とする。

表 3【展開期活動】 申請・採択件数の推移

助成年度	活動実施 対象期間	助成金額	採択件数	申請件数	倍率	採択 基準点(注)
19 年度	H20.1-9					
20 年度	H20.4-21.3	4,511	57	183	3.2	18.3
21 年度	H21.4-22.3	3,325	37	121	3.3	20.0
22 年度	H22.4-23.3	2,916	35	96	2.7	21.6
23 年度	H23.4-24.3	4,055	47	109	2.3	20.7
24 年度	H24.4-25.3	4,389	49	101	2.1	22.7
25 年度	H25.4-26.3	4,279	48	110	2.3	22.5

26 年度	H26.4-27.3	4,180	48	127	2.6	19.7
27 年度	H27.4-28.3	3,764	40	106	2.7	22.0
28 年度	H28.4-29.3	3,960	42	108	2.6	21.5
29 年度	H29.4-30.3	3,790	48	131	2.7	21.5
展開期	小計&平均	39,169	451	1,192	2.6	21.0
展開期・協働	合計&平均	42,164	482	1,284	2.7	20.9

※ 展開期・協働活動＝上限 100 万円×50 件（年間、平成 23 年度以降は展開期へ包括）は、書類審査（1 次審査）と公開プレゼン審査（2 次審査）で判断。

※ 審査会における評価 6 項目のうち、「理念継承性」が 3.0 点以上かつ合計点が上記の点数以上のものを採択、平成 23 年度以降は上記に加えて「費用の妥当性」が 3.0 以上であることを条件とする。

表 4【協働】 申請・採択件数の推移

助成年度	活動実施 対象期間	助成金額	採択件数	申請件数	倍率	採択 基準点(注)
19 年度	H20.1-9					
20 年度	H20.4-21.3	998	10	37	3.7	18.3
21 年度	H21.4-22.3	1,032	11	33	3.0	20.0
22 年度	H22.4-23.3	965	10	22	2.2	21.3
協働	合計&平均	2,995	31	92	3.0	19.9

※ 展開期・協働活動＝上限 100 万円×50 件（年間、平成 23 年度以降は展開期へ包括）は、書類審査（1 次審査）と公開プレゼン審査（2 次審査）で判断。

審査会における評価 6 項目のうち、「理念継承性」が 3.0 点以上かつ合計点が上記の点数以上のものを採択。

表 5【大規模】 申請・採択件数の推移

助成年度	活動実施 対象期間	助成金額	採択件数	申請件数	倍率	採択 基準点(注)
19 年度	H20.1-9					
20 年度	H20.4-21.3	3,695	8	24	3.0	23.4
21 年度	H21.4-22.3	3,620	8	72	9.0	23.0
22 年度	H22.4-23.3	3,995	8	32	4.0	21.1
23 年度	H23.4-24.3	3,635	8	32	4.0	21.1
24 年度	H24.4-25.3	3,296	7	25	3.6	22.7
25 年度	H25.4-26.3	4,094	9	27	3.0	24.8
26 年度	H26.4-27.3	3,716	8	35	4.4	21.4
27 年度	H27.4-28.3	3,405	9	30	3.3	22.0
28 年度	H28.4-29.3	4,070	9	32	3.6	22.0
29 年度	H29.4-30.3	2,320	7	33	4.7	23.3
	合計&平均	35,846	81	342	4.2	22.5

※ 大規模活動＝上限 500 万円×8 件（年間）は、書類審査（1 次審査）と公開プレゼン審査（2 次審査）で判断。

※ 審査会における評価 6 項目のうち、「理念継承性」が 3.0 点以上かつ合計点が上記の点数以上のものを採択、平成 23 年度以降は上記に加えて「費用の妥当性」が 3.0 以上であることを条件とする。

表 6【全体】 申請・採択件数の推移

助成年度	活動区分	助成金額	採択件数	申請件数
19 年度	初期	3,156	109	196
20 年度	初期／展開期・協働／大規模	12,128	175	462
21 年度	初期／展開期・協働／大規模	10,891	155	409
22 年度	初期／展開期・協働／大規模	10,727	151	365
23 年度	初期／展開期／大規模	10,582	154	326
24 年度	初期／展開期／大規模	10,112	139	318
25 年度	初期／展開期／大規模	11,419	162	338
26 年度	初期／展開期／大規模	10,645	149	322
27 年度	初期／展開期／大規模	9,968	145	317
28 年度	初期／展開期／大規模	10,823	148	364
29 年度	初期／展開期／大規模	7,873	116	317
合計 & 平均		108,324	1,603	3,734

※ 初期活動＝上限 30 万円×100 件（年間、2 回募集）、書類審査のみで判断。展開期・協働活動＝上限 100 万円×50 件（年間）、H23 年度以降は展開期へ包括。1 次審査（書面）と 2 次審査（公開プレゼン）。大規模活動＝上限 500 万円×8 件（年間）は、書類審査（1 次審査）と公開プレゼン審査（2 次審査）で判断。

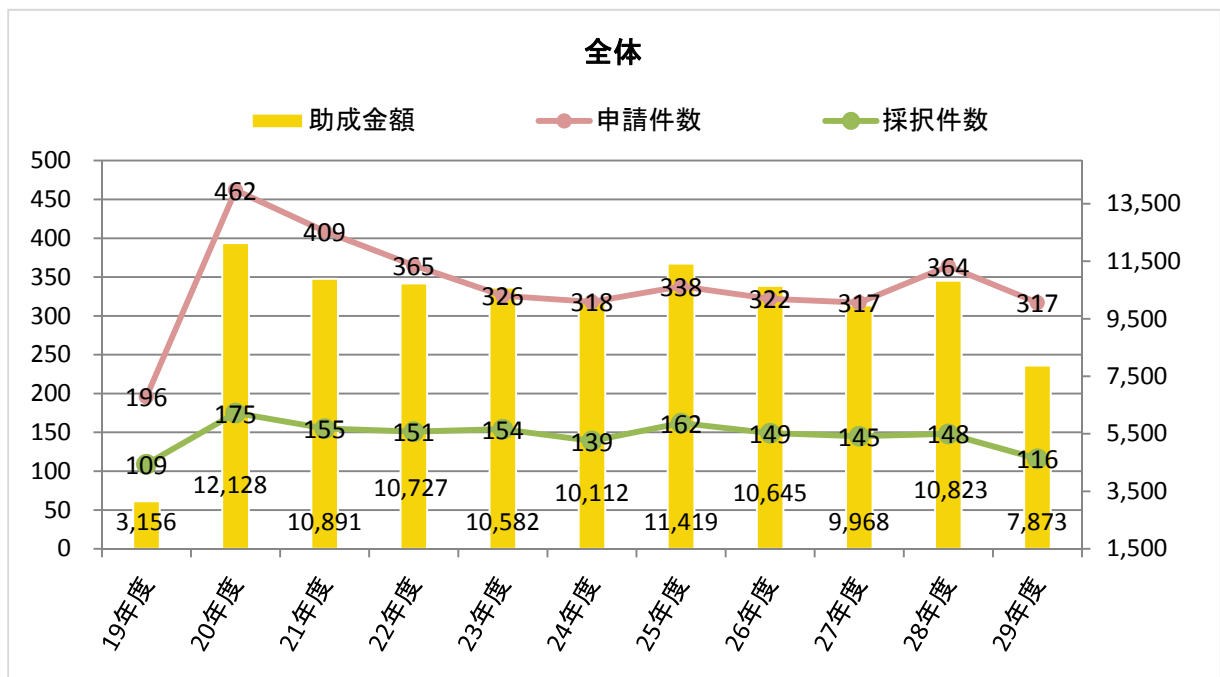


図 1【全体】 助成実績全体グラフ（申請数・採択数及び助成総額の推移）

● 助成実績全体・グラフ

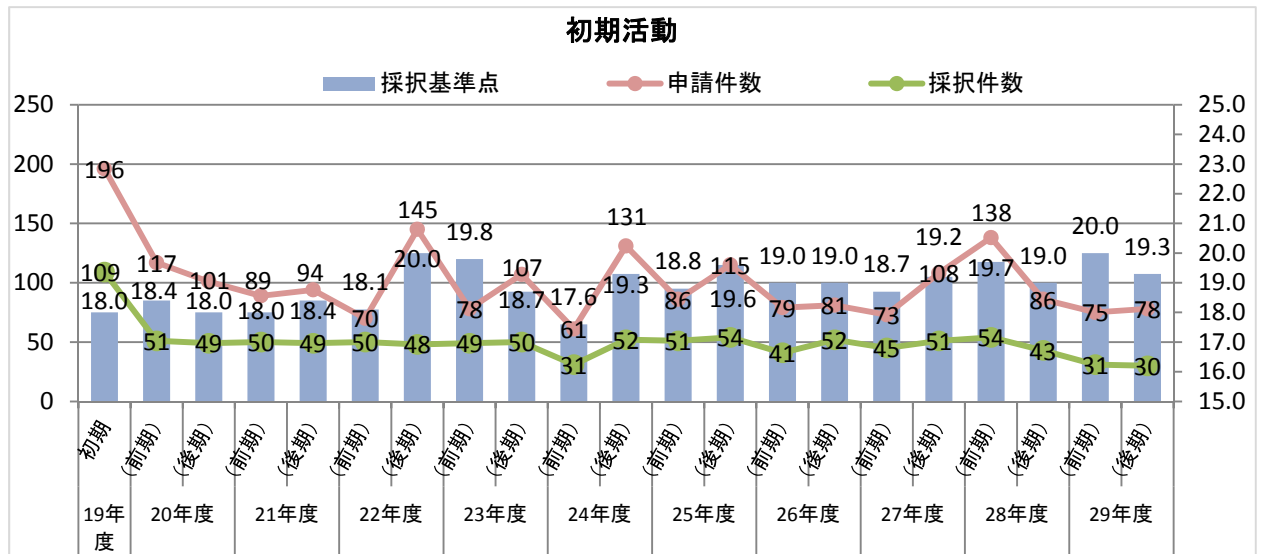


図 2【初期活動】 助成実績全体グラフ〔申請数・採択数及び採択基準点の推移〕

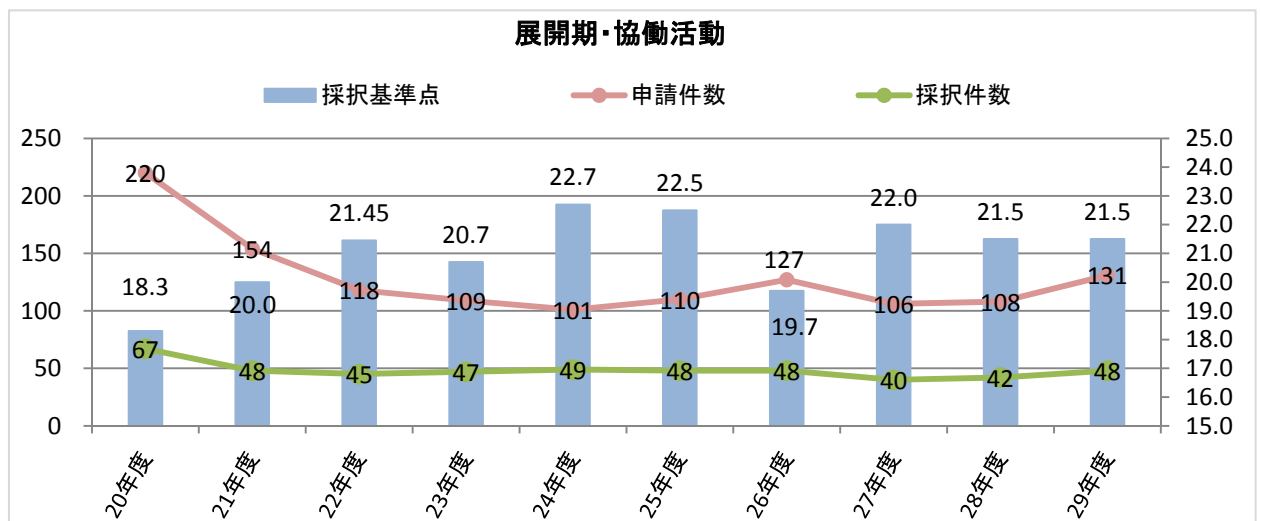


図 3【展開期・協働活動】 助成実績全体グラフ〔申請数・採択数及び採択基準点の推移〕

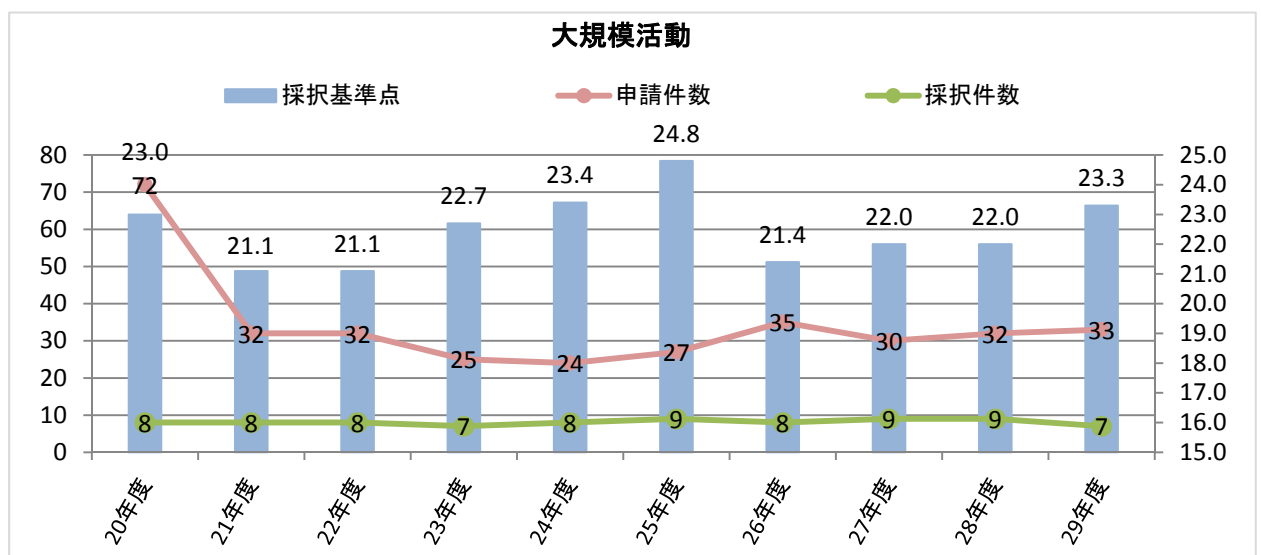


図 4【大規模活動】 助成実績全体グラフ〔申請数・採択数及び採択基準点の推移〕

(2) 活動分野別の申請数・採択数

活動分野ごとの申請数と採択数は、以下の通りです。採択数に占める割合の高い順に、**(1)環境保全 18.6%、(2)子どもの健全育成 18.0%、(3)保健医療福祉 17.3%、(4)まちづくり 12.7%**となりました。

採択率(申請数／採択数)については、**(1)災害救援 62.2%、(2)農山漁村／科学技術振興 共に 55.6%、(4)人権擁護平和 55.3%、(5)地域安全 49.0%**と続き、学術・文化・芸術・スポーツ 16.1%、観光の振興 17.4%は低い結果となりました。

表 7 活動分野別の申請数・採択数および採択率、申請数・採択数に占める割合

活動分野	初期					展開期・協働					大規模					小計				
	申請数	採択数	採択率	占める割合	申請数に占める割合	申請数	採択数	採択率	占める割合	申請数に占める割合	申請数	採択数	採択率	占める割合	申請数に占める割合	申請数	採択数	採択率	占める割合	申請数に占める割合
	件	件	%	%	%	件	件	%	%	%	件	件	%	%	%	件	件	%	%	%
環境保全	295	183	62.0	14.0	17.6	246	102	41.5	19.2	21.2	57	13	22.8	16.7	16.0	598	298	49.8	16.0	18.6
子どもの健全育成	401	192	47.9	19.0	18.5	234	91	38.9	18.2	18.9	36	5	13.9	10.5	6.2	671	288	42.9	18.0	18.0
保健医療福祉	375	186	49.6	17.8	17.9	197	62	31.5	15.3	12.9	69	29	42.0	20.2	35.8	641	277	43.2	17.2	17.3
まちづくり	318	153	48.1	15.1	14.7	144	43	29.9	11.2	8.9	47	8	17.0	13.7	9.9	509	204	40.1	13.6	12.7
社会教育	116	66	56.9	5.5	6.3	86	37	43.0	6.7	7.7	17	2	11.8	5.0	2.5	219	105	47.9	5.9	6.6
国際協力	81	44	54.3	3.8	4.2	75	38	50.7	5.8	7.9	30	8	26.7	8.8	9.9	186	90	48.4	5.0	5.6
災害救援	50	37	74.0	2.4	3.6	45	27	60.0	3.5	5.6	16	5	31.3	4.7	6.2	111	69	62.2	3.0	4.3
団体助言援助	37	19	51.4	1.8	1.8	49	24	49.0	3.8	5.0	32	5	15.6	9.4	6.2	118	48	40.7	3.2	3.0
学術・文化・芸術・スポーツ	205	42	20.5	9.7	4.0	59	2	3.4	4.6	0.4	10	0	0.0	2.9	0.0	274	44	16.1	7.3	2.7
人権擁護平和	33	19	57.6	1.6	1.8	36	21	58.3	2.8	4.4	7	2	28.6	2.0	2.5	76	42	55.3	2.0	2.6
職業能力雇用	50	23	46.0	2.4	2.2	27	8	29.6	2.1	1.7	9	2	22.2	2.6	2.5	86	33	38.4	2.3	2.1
地域安全	30	19	63.3	1.4	1.8	19	6	31.6	1.5	1.2	2	0	0.0	0.6	0.0	51	25	49.0	1.4	1.6
男女共同参画	34	19	55.9	1.6	1.8	16	3	18.8	1.2	0.6	1	0	0.0	0.3	0.0	51	22	43.1	1.4	1.4
農山漁村	20	14	70.0	0.9	1.3	21	10	47.6	1.6	2.1	4	1	25.0	1.2	1.2	45	25	55.6	1.2	1.6
情報化社会	15	7	46.7	0.7	0.7	10	3	30.0	0.8	0.6	0	0	0.0	0.0	0.0	25	10	40.0	0.7	0.6
科学技術振興	12	7	58.3	0.6	0.7	5	3	60.0	0.4	0.6	1	0	0.0	0.3	0.0	18	10	55.6	0.5	0.6
経済活動活性化	21	8	38.1	1.0	0.8	5	1	20.0	0.4	0.2	2	0	0.0	0.6	0.0	28	9	32.1	0.7	0.6
観光の振興	13	2	15.4	0.6	0.2	8	1	12.5	0.6	0.2	2	1	50.0	0.6	1.2	23	4	17.4	0.6	0.2
消費者保護	4	0	0.0	0.2	0.0	2	0	0.0	0.2	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	6	0	0.0	0.2	0.0
計	2110	1040	49.3	100.0	100.0	1284	482	37.5	100.0	100.0	342	81	23.7	100.0	100.0	3736	1603	42.9	100.0	100.0

申請数に占める割合を、「初期活動」「展開期・協働活動」「大規模活動」の別に見ていくと、初期活動では「子どもの健全育成」「保健医療福祉」「まちづくり」が占める割合が比較的高く、展開期では「環境保全」「子どもの健全育成」「保健医療福祉」が、大規模では「保健医療福祉」「環境保全」「ま

ちづくり」が多いといった、活動区分によって傾向は多少異なります。

採択数に占める割合は、ほぼ申請数の割合に対応するものの、大規模活動での「保健医療福祉」の採択割合が高い点が顕著でした。

(3) 団体種別の申請数・採択数

団体種別別の申請数と採択数は、以下の通りです。採択数全体に占める割合では、任意団体が62.9%、NPO法人が33.9%、その他（一般社団／財団法人、社会福祉法人等）3.2%と、任意団体が高い割合を占めています。

活動区分における違いは大きく、任意団体は「初期活動」74.3%、「展開期活動」46.5%、「大規模活動」13.6%となります。NPO法人は「初期活動」23.2%、「展開期活動」49.2%、「大規模活動」80.2%となりました。

採択率は、団体種別による違いは比較的少ない結果となりました。任意団体が最も高く44.8%、NPO法人が40.5%となっていますが、これは、任意団体が「初期活動」を比較的多く申請することとも反映されていると考えられます。

表8 団体種別の申請数・採択数および採択率、申請数・採択数に占める割合

団体種別	初期					展開期・協働					大規模					小計				
	申請数	採択数	採択率	占める割合	採択数に占める割合	申請数	採択数	採択率	占める割合	採択数に占める割合	申請数	採択数	採択率	占める割合	採択数に占める割合	申請数	採択数	採択率	占める割合	採択数に占める割合
	件	件	%	%	%	件	件	%	%	%	件	件	%	%	%	件	件	%	%	%
任意団体	1543	773	50.1	73.1	74.3	632	224	35.4	49.2	46.5	73	11	15.1	21.3	13.6	2248	1008	44.8	60.2	62.9
NPO法人	500	241	48.2	23.7	23.2	595	237	39.8	46.3	49.2	247	65	26.3	72.2	80.2	1342	543	40.5	35.9	33.9
その他	67	26	38.8	3.2	2.5	57	21	36.6	4.4	4.4	22	5	22.7	6.4	6.2	146	52	35.6	3.9	3.2
計	2110	1040	49.3	100	100	1284	482	37.5	100	100	342	81	23.7	100	100	3736	1603	42.9	100	100

(4) 地域別の申請数・採択数

地域別の申請数と採択数は以下の通りです。採択数に占める割合は、多い順に(1)名古屋市43.8%、(2)尾張・海部27.1%、(3)西三河14.0%、(4)東三河7.3%、(5)知多6.9%となりました。

活動区分別の採択率は、「初期活動」は西三河が54.5%と最も高く、「展開期活動」は東三河が40.8%、「大規模活動」は知多34.6%となりました。初期活動の西三河と大規模活動の知多は、他地域と比べ5～10%の差があり、群を抜いて高い結果となりました。

西三河では、スタートアップ時の補助制度を設けている自治体も多く、市町村補助金の採択団体がモリコロ基金を次の一步として活用され、応募する団体の助成金申請力が備わっていたことが推測されます。

表 9 地域別の申請数・採択数および採択率、申請数・採択数に占める割合

地域区分	初期					展開期・協働					大規模					小計				
	申請数	採択数	採択率	占める割合	採択数に占める割合	申請数	採択数	採択率	占める割合	採択数に占める割合	申請数	採択数	採択率	占める割合	採択数に占める割合	申請数	採択数	採択率	占める割合	採択数に占める割合
	件	件	%	%	%	件	件	%	%	%	件	件	%	%	%	件	件	%	%	%
名古屋市	877	423	48.2	41.6	40.7	581	228	39.2	45.2	47.3	195	51	26.2	57.0	63.0	1653	702	42.5	44.2	43.8
尾張・海部	591	286	48.4	28.0	27.5	349	139	39.8	27.2	28.8	55	10	18.2	16.1	12.3	995	435	43.7	26.6	27.1
知 多	161	79	49.1	7.6	7.6	75	23	30.7	5.8	4.8	26	9	34.6	7.6	11.1	262	111	42.4	7.0	6.9
西三河	312	170	54.5	14.8	16.3	164	48	29.3	12.8	10.0	33	7	21.2	9.6	8.6	509	225	44.2	13.6	14.0
東三河	145	71	49.0	6.9	6.8	103	42	40.8	8.0	8.7	27	4	14.8	7.9	4.9	275	117	42.5	7.4	7.3
他 県	24	11	45.8	1.1	1.1	12	2	16.7	0.9	0.4	6	0	0.0	1.8	0.0	42	13	31.0	1.1	0.8
計	2110	1040	49.3	100	100	1284	482	37.5	100	100	342	81	23.7	100	100	3736	1603	42.9	100	100

2. 初期活動

(1) 活動分野別の申請数・採択数

活動分野ごとの申請数と採択数は以下の通りです。採択数に占める割合が高い順に、**(1)子どもの健全育成 18.5%、(2)保健医療福祉 17.9%、(3)環境保全 17.6%、(4)まちづくり 14.7%**です。全体の傾向と比較して、初期活動では、「まちづくり」「学術・文化・芸術・スポーツ」の比率が高くなっています。

採択率では、「災害救援」「農山漁村」「地域安全」等が比較的高く、「観光の振興」「学術・文化・芸術・スポーツ」が低い結果が出ています。

表 10【初期活動】 活動分野別申請数・採択数

活動分野	初期			
	申請数	採択数	採択率	採択数に占める割合
	件	件	%	%
環境保全	295	183	62.0	17.6
子どもの健全育成	401	192	47.9	18.5
保健医療福祉	375	186	49.6	17.9
まちづくり	318	153	48.1	14.7
社会教育	116	66	56.9	6.3
国際協力	81	44	54.3	4.2
災害救援	50	37	74.0	3.6
団体助言援助	37	19	51.4	1.8

学術・文化・芸術・スポーツ	205	42	20.5	4.0
人権擁護平和	33	19	57.6	1.8
職業能力雇用	50	23	46.0	2.2
地域安全	30	19	63.3	1.8
男女共同参画	34	19	55.9	1.8
農山漁村	20	14	70.0	1.3
情報化社会	15	7	46.7	0.7
科学技術振興	12	7	58.3	0.7
経済活動活性化	21	8	38.1	0.8
観光の振興	13	2	15.4	0.2
消費者保護	4	0	0.0	0.0
計	2,110	1,040	49.3	100.0

(2) 団体種別の申請数・採択数

採択数では、任意団体の占める割合が74.3%と、ほぼ3/4を占めました。NPO法人は、23.2%に留まり、任意団体が応募できる仕組みによって、申請団体の層が広がったことが推測されます。また、採択率においては、任意団体50.1%、NPO法人48.2%と、ほぼ同じ割合となりました。前回調査と比較し、NPO法人の採択率が上がったことから、法人化した団体の応募につながるようNPO法人認証窓口での紹介が効果をもたらしたと推測されます。

表 11【初期活動】 団体種別申請数・採択数

団体種別	初期			
	申請数	採択数	採択率	採択数に占める割合
	件	件	%	%
任意団体	1,543	773	50.1	74.3
NPO法人	500	241	48.2	23.2
その他	67	26	38.8	2.5
計	2,110	1,040	49.3	100.0

(3) 地域別の申請数・採択数

地域区分による申請件数／採択件数は以下の通りです。採択数に占める割合は、多い順に **(1)名古屋市 40.7%、(2)尾張・海部 27.5%、(3)西三河 16.3%、(4)東三河 6.8%**となりました。全体平均と比べて、初期活動では「西三河」の割合が高いのが特徴です。

採択率でも「西三河」54.5%と2位以下との差が5%近く開いた結果となりました。次いで「知多」が続き、初期活動の芽が育っていることが推測されます。

表 12【初期活動】 地域別申請数・採択数

地域区分	初期			
	申請数	採択数	採択率	採択数に占める割合
	件	件	%	%
名古屋市	877	423	48.2	40.7
尾張・海部	591	286	48.4	27.5
知 多	161	79	49.1	7.6
西三河	312	170	54.5	16.3
東三河	145	71	49.0	6.8
他 県	24	11	45.8	1.1
計	2,110	1,040	49.3	100.0

3. 展開期・協働活動

(1) 活動分野別の申請数・採択数

活動分野ごとの申請件数／採択件数は以下の通りです。採択数における割合が高い順に、**(1)環境保全 21.2%、(2)子どもの健全育成 18.9%、(3)保健医療福祉 12.9%、(4)まちづくり 8.9%**です。全体傾向と比べて、展開期活動では「環境保全」「国際協力」の比率が高くなっています。

採択率では、「災害救援」「人権擁護・平和推進」「科学技術振興」等が比較的高く、「学術・文化・芸術・スポーツ」「男女共同参画」「経済活動活性化」「観光の振興」が低い傾向がありました。

表 13【展開期・協働】 活動分野別申請数・採択数

活動分野	展開期・協働			
	申請数	採択数	採択率	採択数に占める割合
	件	件	%	%
環境保全	246	102	41.5	21.2
子どもの健全育成	234	91	38.9	18.9
保健医療福祉	197	62	31.5	12.9
まちづくり	144	43	29.9	8.9
社会教育	86	37	43.0	7.7
国際協力	75	38	50.7	7.9
災害救援	45	27	60.0	5.6
団体助言援助	49	24	49.0	5.0

学術・文化・芸術・スポーツ	59	2	3.4	0.4
人権擁護平和	36	21	58.3	4.4
職業能力雇用	27	8	29.6	1.7
地域安全	19	6	31.6	1.2
男女共同参画	16	3	18.8	0.6
農山漁村	21	10	47.6	2.1
情報化社会	10	3	30.0	0.6
科学技術振興	5	3	60.0	0.6
経済活動活性化	5	1	20.0	0.2
観光の振興	8	1	12.5	0.2
消費者保護	2	0	0.0	0.0
計	1,284	482	37.5	100.0

(2) 団体種別の申請数・採択数

申請数では、任意団体がNPO法人を少し上回っていますが、採択数に占める割合ではNPO法人が49.2%、任意団体が46.5%と、NPO法人の割合が任意団体を上回る結果となりました。

これは、採択率の高さにも反映し、NPO法人39.8%、任意団体35.4%となっています。

表 14【展開期・協働】 団体種別申請数・採択数

団体種別	展開期・協働			
	申請数	採択数	採択率	採択数に占める割合
	件	件	%	%
任意団体	632	224	35.4	46.5
NPO法人	595	237	39.8	49.2
その他	57	21	36.8	4.3
計	1,284	482	37.5	100.0

(3) 地域別の申請数・採択数

地域区分による申請数と採択数は以下の通りです。採択件数に占める割合は、多い順に(1)名古屋市47.3%、(2)尾張・海部28.8%、(3)西三河10.0%、(4)東三河8.7%となりました。

全体平均と比べ、展開期活動は「尾張・海部」「東三河」の割合が高いのが特徴です。

表 15【展開期・協働】 地域別申請数・採択数

地域区分	展開期・協働			
	申請数	採択数	採択率	採択数に占める割合
	件	件	%	%
名古屋市	581	228	39.2	47.3
尾張・海部	349	139	39.8	28.8
知 多	75	23	30.7	4.8
西三河	164	48	29.3	10.0
東三河	103	42	40.8	8.7
他 県	12	2	16.7	0.4
計	1,284	482	37.5	100.0

4. 大規模活動

1) 活動分野別の申請数・採択数

活動分野ごとの申請数と採択数は以下の通りです。採択数に占める割合が高い順に、**(1)保健医療福祉 35.8%、(2)環境保全 16.0%、(3)まちづくり／国際協力 共に 9.9%**、です。全体平均と比較して、大規模活動では「保健医療福祉」の比率が高いのが顕著でした。

採択率では、「保健医療福祉」の他、「観光の振興」「災害救援」「人権擁護平和」が高い特徴がありました。

表 16【大規模】 活動分野別申請数・採択数

活動分野	大規模			
	申請数	採択数	採択率	採択数に占める割合
	件	件	%	%
環境保全	57	13	22.8	16.0
子どもの健全育成	36	5	13.9	6.2
保健医療福祉	69	29	42.0	35.8
まちづくり	47	8	17.0	9.9
社会教育	17	2	11.8	2.5
国際協力	30	8	26.7	9.9
災害救援	16	5	31.3	6.2
団体助言援助	32	5	15.6	6.2
学術・文化・芸術・スポーツ	10	0	0.0	0.0

人権擁護平和	7	2	28.6	2.5
職業能力雇用	9	2	22.2	2.5
地域安全	2	0	0.0	0.0
男女共同参画	1	0	0.0	0.0
農山漁村	4	1	25.0	1.2
情報化社会	0	0	0.0	0.0
科学技術振興	1	0	0.0	0.0
経済活動活性化	2	0	0.0	0.0
観光の振興	2	1	50.0	1.2
消費者保護	0	0	0.0	0.0
計	342	81	23.7	100.0

2) 団体種別の申請数・採択数

採択数に占める割合では、NPO法人が80.2%、任意団体が13.6%と、NPO法人が4/5以上を占めています。また、その他は6.2%を占め、他の活動区分に比べて採択率が高い結果となりました。内訳は、一般社団法人、公益社団・財団法人となっています。

これは、採択率の高さにも反映し、NPO法人26.1%、その他法人22.7%、任意団体15.1%となっています。

表 17【大規模】 団体種別申請数・採択数

団体種別	大規模			
	申請数	採択数	採択率	採択数に占める割合
	件	件	%	%
任意団体	73	11	15.1	13.6
NPO法人	247	65	26.3	80.2
その他	22	5	22.7	6.2
計	342	81	23.7	100.0

3) 地域別の申請数・採択数

地域区分による申請数と採択数は以下の通りです。採択数に占める割合は、多い順に、**(1)名古屋市 63.0%、(2)尾張・海部 12.3%、(3)知多 11.1%**となりました。

全体平均と比べて大規模活動では、「知多」「名古屋市」の割合が高いのが特徴です。他方、「東三河」は割合が低くなっています。また、「尾張・海部」は平成27年から3年間に5団体が採択されたことにより、平成26年度調査と比べ高い結果となりました。

表 18【大規模】 地域別申請数・採択数

地域区分	大規模			
	申請数	採択数	採択率	採択数に 占める割合
	件	件	%	%
名古屋市	195	51	26.2	63.0
尾張・海部	55	10	18.2	12.3
知 多	26	9	34.6	11.1
西三河	33	7	21.2	8.6
東三河	27	4	14.8	4.9
他 県	6	0	0.0	0.0
計	342	81	23.7	100.0